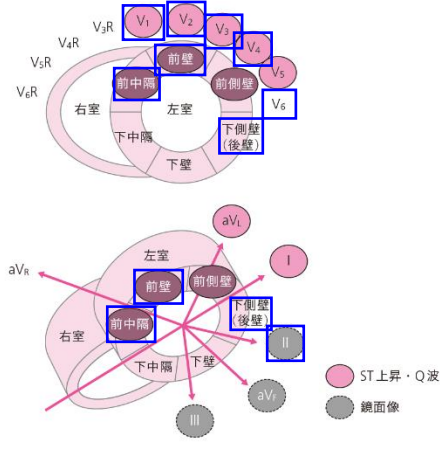
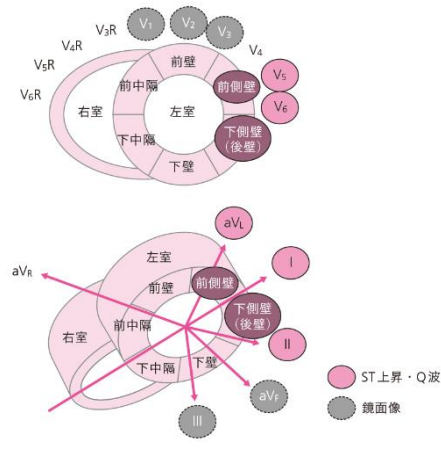
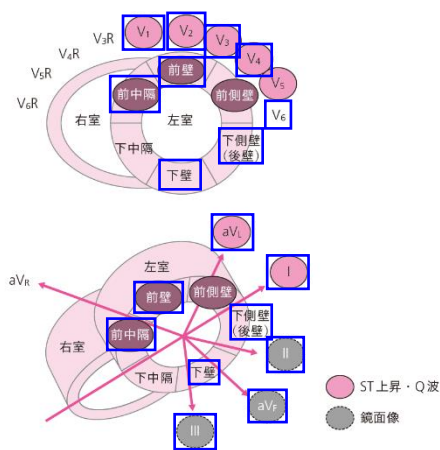
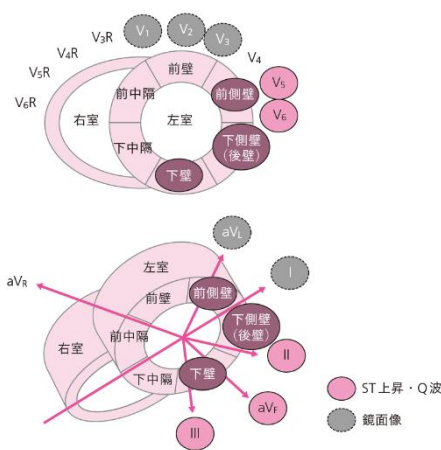




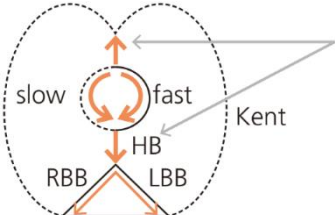
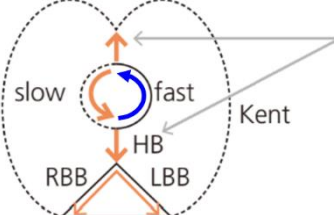
## 『心研印 心電図判読ドリル』 正誤表

このたびは『心研印 心電図判読ドリル』をご購入いただきまして誠にありがとうございます。本書におきまして、以下の誤りがございました。ここに訂正させていただきますとともに深くお詫び申し上げます。

2022年10月14日作成 2024年9月19日更新

刷数	訂正箇所	誤	正	掲載
1	Case 4 p.10 解説下から 10行目	……肺動脈性高血圧症……	……肺動脈性肺高血圧症……	2022/10/14
1	Case 19 p.64 解説 図 A-a 青枠部分			2022/10/14
1	Case 20 p.68 解説 図 A-a 青枠部分			2022/10/14
1, 2	Case 37 p.134 3行目	……左室駆出率 (LVEF) 68 <del>mm</del> ……	……左室駆出率 (LVEF) 68%……	2022/11/21
1~3	Case 24 p.83 選択肢④	T波の振幅に対してST上昇が小さい。	<u>早期再分極と比較して</u> 、T波の振幅に対してST上昇が小さい。	2023/1/18
1~3	Case 39 p.142 選択肢③	<u>R波後の</u> 逆行性P波は明らかではない。	<u>QRS波と分離した</u> 逆行性P波は明らかではない。	2023/1/18



刷数	訂正箇所	誤	正	掲載
1~3	Case 39 p.142 図 1 洞調律時 右図			2023/10/3
1~3	Case 39 p.144 図 A-a 右シェーマ			2023/10/3
1~3	Case 8 p.18 選択肢③	<u>右心負荷</u> を認める.	<u>右室負荷</u> を認める.	2023/10/19
1~3	Case 8 p.20 11 行目	……左房負荷を示唆する所見と捉えられます。よって……	……左房負荷を示唆する所見と捉えられます。 <u>また V<sub>1</sub>, V<sub>2</sub> 誘導の R 波が高いことから右室負荷所見の可能性もあります。左房と右室に負荷がかかっており、まだ右房までの負荷は大きくないと考えられます。</u> よって……	2023/10/19
1~3	Case 25 p.88 下から 14 行目	……本症例でも aV <sub>R</sub> の ST 上昇を認めるものの……	……本症例でも <u>-aV<sub>R</sub></u> の ST 上昇を認めるものの……	2023/10/19

刷数	訂正箇所	誤	正	掲載
1～4	Case 28 p.100 下から 6行目	… <u>V<sub>5</sub></u> 誘導の R 波高は <u>41</u> mV と…	… <u>V<sub>6</sub></u> 誘導の R 波高は <u>3.4</u> mV と…	2023/12/1
1～4	Case 50 p.187 選択肢⑤	…DDI 70 bpm の設定であるが…	…DDI <u>60</u> bpm の設定であるが…	2024/9/19
1～4	Case 50 p.190 下から 2行目	自己伝導による心室 sensing event が 180msec と 300msec より速いため……	<u>例えば</u> 自己伝導による心室 sensing event が 180msec <u>のときには</u> 300msec より速いため……	2024/9/19
1～4	Case 50 p.190 図 E	図 E <a href="#">[症例 6]モニター心電図</a>	図 E	2024/9/19

